

新潟焼山の火山活動解説資料（平成 26 年 4 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 23 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2、図 3－①）

新潟県土木部砂防課が焼山温泉（山頂の北北西約 8 km）に設置している監視カメラによる観測では、山頂部東側斜面の噴気は少なく、噴気の高さは 0～30m で経過しました。

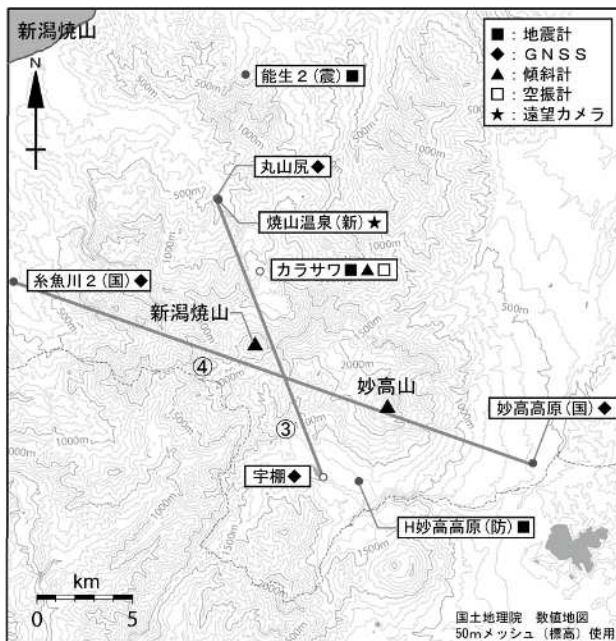
・地震や微動の発生状況（図 3－②、図 4）

今期間、火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 3－③④）

GNSS^{注）}連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

注）GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国)：国土地理院、(防)：防災科学技術研究所、(震)：東京大学地震研究所、(新)：新潟県

図 1 新潟焼山 観測点配置図

(GNSS 基線③④は図 3 の③④に対応しています。)



図 2 新潟焼山 山頂部の状況

(4 月 25 日 焼山温泉監視カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 5 月分）は平成 26 年 6 月 9 日に発表する予定です。

この資料は、国土地理院、東京大学、京都大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び新潟県のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ (標高)』『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号：平 23 情使、第 467 号)。

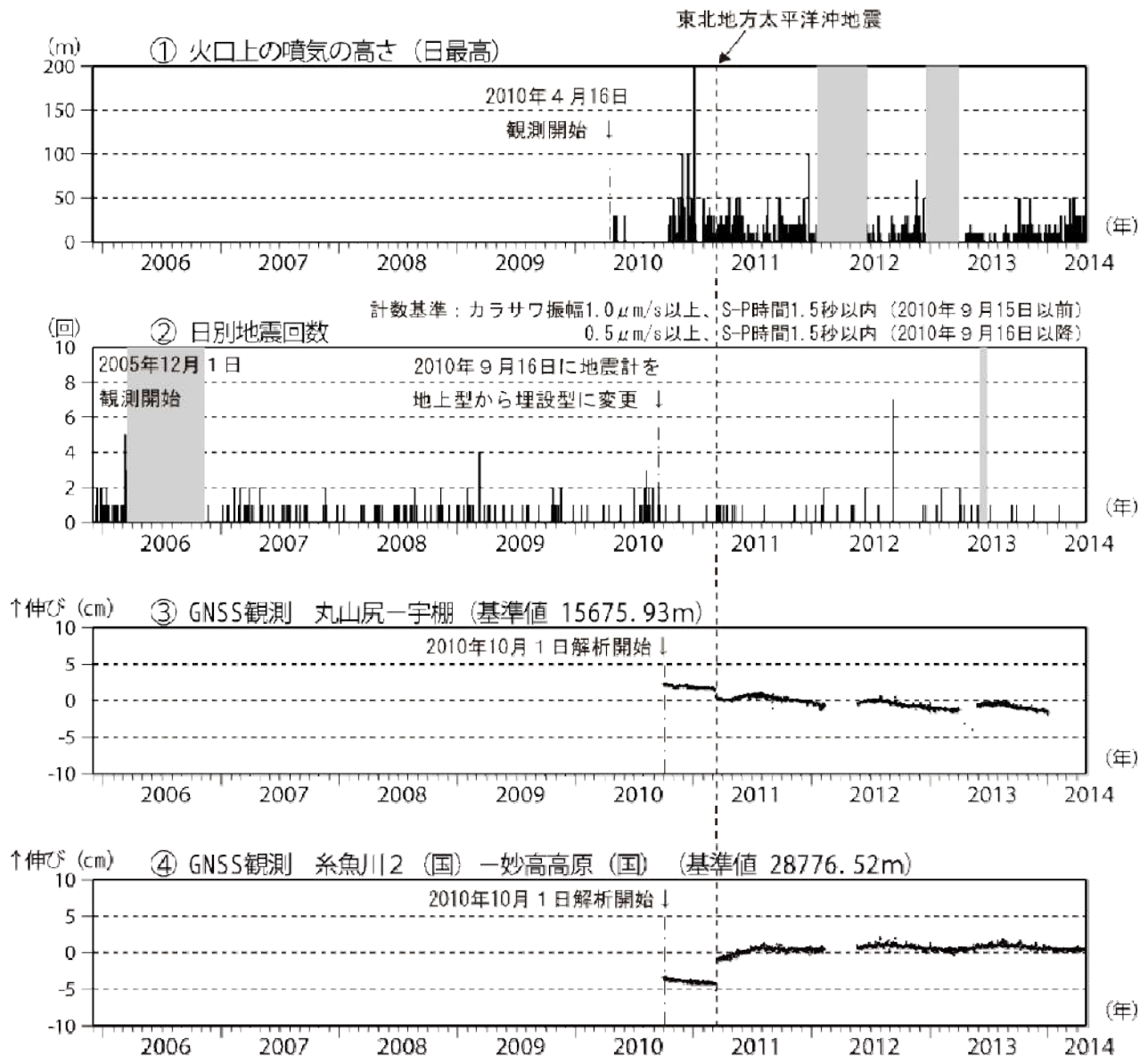


図3 新潟焼山 火山活動経過図（2005年12月1日～2014年4月30日）

- ①：定時観測（09時・15時）による日別最高の噴気の高さ
 - ・図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ②：日別地震回数
 - ・図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ③④：GNSS連続観測結果（国）：国土地理院
 - ・③④の基線には、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。
 - ・③④は、図1のGNSS基線③④に対応しています。
 - ・グラフの空白部分は欠測を示します。

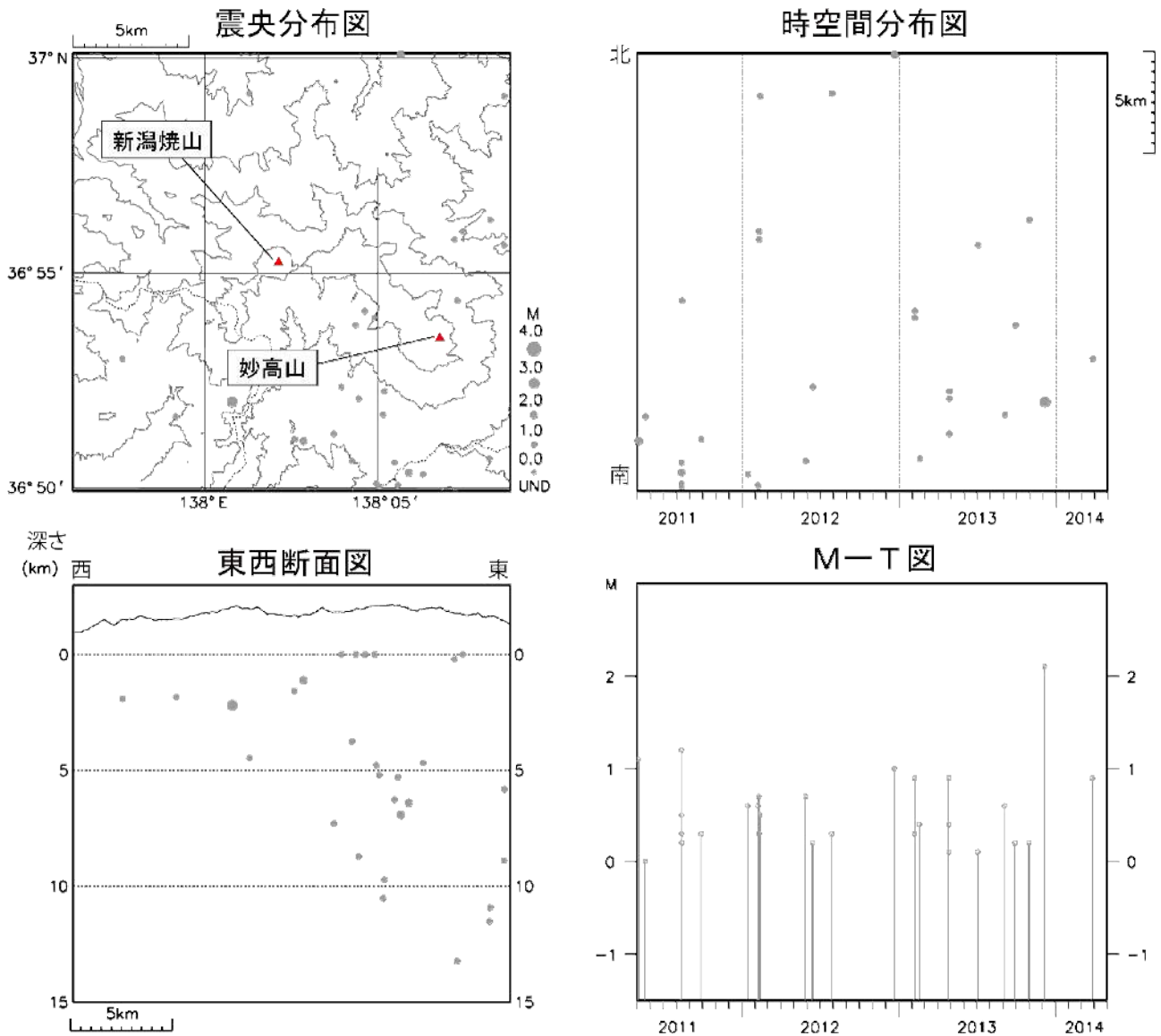


図 4 新潟焼山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2011 年 5 月 1 日～2014 年 4 月 30 日）

●：2011 年 5 月 1 日～2014 年 3 月 31 日 ●：2014 年 4 月 1 日～4 月 30 日

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。

今期間、山体周辺の地震の発生はありませんでした。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。